令和７年９月２２日
瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会資料

令和６年度瑞浪市夢づくり地域交付金事業

資料５－８

【特定非営利活動法人 明日の稲津を築く まちづくり推進協議会】

●実績の概要

事業数	７事業
事業費総額 （決算時）	１，９９３，９１７円
交付金決定額 （うち加算額）	１，２０５，０００円 （０円）
交付金決算額	１，２０５，０００円
交付金返還額	０円

●添付資料

・実績報告書※各事業の実績書の前に当初の計画書を添付　Ｐ１　～Ｐ３０
・事後評価調書　Ｐ３１～Ｐ３７
・参考写真
（令和６年度夢づくり地域交付金事業の様子）　Ｐ３８～Ｐ４４

様式第８号（第１１条第１項関係）

令和７年４月９日

瑞浪市長　様

（申請団体）
所在地：瑞浪市稲津町小里６９７番地の１
名称：特定非営利活動法人
明日の稲津を築くまちづくり推進協議会
代表者氏名：理事長　勝股　清治

夢づくり地域交付金実績報告書

令和６年５月１日付瑞浪市指令第４４号の３で交付決定された夢づくり地域交付金の事業計画について、夢づくり地域交付金交付規則第１１条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

１．実績書（様式第９号）

事　業　名
まちづくり推進事業
文化・芸術・スポーツ推進事業
環境保全事業
社会福祉推進事業
青少年健全育成事業
まちづくり情報発信事業
３０周年記念事業積立金

２．活動記録等の資料（写真等）
３．帳簿の写し（監事の記名・押印のあるもの）
４．通帳の写し
~~５．契約書の写し（１件の支払額が５０万円を超える場合に限る。）~~
~~６．備品購入、業者選定等の選定委員会等の会議録（ステップアップ事業）~~

注１）不要な文字は抹消すること。
注２）上記以外の添付書類がある場合は、連番を付して記載すること。

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

まちづくり推進事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

増加する地域の休耕田を活用するため、まちづくり協議会が中心となってボランティアを募り管理しているが、ボランティアは年長者が中心であり、若い世代のまちづくり事業への参画が課題となっている。
そこで、休耕田を借用して野菜を栽培し、町民のふれあい事業に活用する。さつまいも、じゃがいも、かぼちゃ等を栽培し、農業体験を通じて地域の子どもたちに栽培することの大変さ、収穫することの楽しさを実感できる機会を設け、地域の自然や文化を伝承する。
長寿会・子供会等の幅広い年齢層の住民が参画することにより、ふれあいの場を提供するとともに、活力あるまちづくりの実現を目指す。
・いいなっつ農園苗植え
・いいなっつ農園収穫祭

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

いいなっつ農園苗植え	参加予定人数	約200名
いいなっつ農園収穫祭	参加予定人数	約200名

４　事業に要する経費（総事業費）

200,000 円

５　交付金申請額

140,000 円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施する地区

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

まちづくり推進事業

２　活動報告（活動内容等）

羽広橋近くの休耕田2,000㎡を借用し、サツマイモ、サトイモ、カボチャを栽培する町民のふれあい農園として整備をしました。
長寿会やまちづくり役員だけでなく、幼稚園児や小学生の親子連れにも参加いただき、サツマイモ（紅はるか）の苗を1,500本植えました。その後、住民ボランティア、まちづくり役員が中心となって、水やり、草刈りを行いました。
収穫祭では、小さな子どもからお年寄りまで140名が参加し、自分たちで植えたサツマイモを袋一杯に収穫していました。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

子ども会や長寿会等幅広い年齢層の住民に参画していただくことができました。特に、子どもたちには、農園での栽培、収穫体験により、農作業の大変さ、収穫の楽しさを実感してもらうことができました。
また、収穫した野菜を福祉施設等に配布し、町民の方々へ広く事業をＰＲすることもできました。

苗植え　参加人数　200名　　収穫作業　参加人数　140名

４　事業に要した経費（総事業費）

211,417 円

５　夢づくり地域交付金充当額

140,000 円

（内、交付金加算額　　円）

６　共に実施したチャレンジ研究室研究員名

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容		経費の内容	
			決算科目	金額
４月		農園耕作・管理（通年）		
５月	いいなっつ農園　苗植え		光熱水費 消耗品費 食料費 報償費	1,564 131,674 28,613 9,040
６月				
７月				
８月				
９月				
１０月	いいなっつ農園　収穫作業		消耗品費 食料費	28,104 12,422
１１月				
１２月				
１月				
２月				
３月				

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	140,000	140,000	
自主財源	60,000	60,000	
その他（　　参加料　　）		2,400	
合　　計	200,000	202,400	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
苗等購入費	いいなっつ農園苗植え 苗、種芋、肥料等の購入	消耗品費	70,000	131,674	
		食料費	20,000	28,613	
		光熱水費		1,564	
		報償費		9,040	
		小計	90,000	170,891	
耕地耕作経費	いいなっつ農園収穫祭	消耗品費	60,000	28,104	
		食料費	20,000	12,422	
		光熱水費	10,000	0	
		通信費等	10,000	0	
		報償費	10,000	0	
		小計	110,000	40,526	
合　　計			200,000	211,417	

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

文化・芸術・スポーツ推進事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

近年、日常的に交流が少なくなりつつある地域住民同士の親睦とまちの活性化を図る必要がある。
・ふれあい映画館
・夏まつり
・まちづくり年末イベント
・フォークビレッジ
・すぷりんぐコンサート

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

各種文化・芸術・スポーツ事業を通して、様々な世代がまちづくり事業に参加し、また町内の各種団体が共催し、事業の計画から運営実施に至るまで地域住民同士が協力することにより交流の輪が広がり、まちの活性化に繋がる。コンサートイベントについては、町外からの参加者も多く交流人口の増加にも繋がる。

参加者数（見込み）	・ふれあい映画館	200名	・夏まつり	1,800名
	・まちづくり年末イベント	100名	・フォークvillage	150名
	・すぷりんぐコンサート	150名		

４　事業に要する経費（総事業費）

1,300,000 円

５　交付金申請額

539,000 円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施する地区

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

文化・芸術・スポーツ推進事業

２　活動報告（活動内容等）

ふれあい映画館は、社会福祉協議会と協賛し、瑞浪南中学校体育館において公演を行いました。中学生ボランティアは大活躍し、来場者150名に映画を楽しんでいただけました。
夏まつりは、『ふるさとに 思いを込めて アツイ夏』をテーマに、麗澤瑞浪中学高等学校の太鼓部の演舞やチアダンス、IMCの子どもバンドも参加していただき、盛大に盛り上がりました。
まちづくり年末イベントは、ア・カペラシンガーズ うすむらさきによるアンサンブルとなり、小さな子から高齢者までが一緒になって合唱するなどし楽しめました。
今年で16回目となるいなつフォークビレッジは、午前と午後の2回公演とし、多くの来場者と一緒に盛り上がりました。手拍子したり足でリズムを刻んだり、一緒になって歌ったりしながら楽しんでいました。
例年とは違う形で開催したwelcomeスプリングコンサートは、東濃を主な活動エリアとしているバンド「吾林寿」によるフォークソングコンサートを行い、懐かしい歌を聴きながら若き日の１コマが蘇り、日々の喧騒を忘れ、素敵な演奏と歌を楽しみました。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

・R6.5.25	ふれあい映画館	来場者数150名
・　7.27	町民夏まつり	来場者数1,950名
・　12.7	クリスマスコンサート	80名
・R7.2.9	いなつフォークvillage	200名
・　3.8	welcome　うえるかむすぷりんぐコンサート	90名

４　事業に要した経費（総事業費）

1,033,010 円

５　夢づくり地域交付金充当額

539,000 円

（内、交付金加算額　　円）

６　共に実施したチャレンジ研究室研究員名

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月			
５月			
６月	稲津ふれあい映画館	消耗品費 食料費 使用料等	5,183 34,126 166,980
７月	町民夏まつり 祈願打ち上げ花火	報償費 消耗品費 食料費 印刷費 光熱水費 使用料等 負担金	58,624 124,027 169,195 21,180 1,714 80,380 64,500
８月			
９月			
１０月			
１１月			
１２月	まちづくり年末イベント （クリスマスコンサート）	報償費 消耗品費 食料費 使用料等	50,000 6,600 10,400 2,268
１月			
２月	いなつフォークVillage	消耗品費 食料費 使用料等	32,258 3,779 30,000
３月	welcomeスプリングコンサート	報償費 消耗品費 食料費 使用料等	80,000 50,000 9,800 31,996

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	539,000	539,000	
自主財源	761,000	439,010	
その他（　協賛金、祝儀		55,000	
合　　計	1,300,000	1,033,010	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
文化事業経費	稲津ふれあい映画館	消耗品費	20,000	5,183	
		食料費	40,000	34,126	
		使用料等	200,000	166,980	
		小計	260,000	206,289	
	町民夏まつり	修繕費	55,000		
		報償費	60,000	58,624	
		消耗品費	60,000	124,027	
		食料費	160,000	169,195	
		印刷費	40,000	21,180	
		光熱水費	5,000	1,714	
		通信費等	20,000		
		委託料	10,000		
		使用料等	80,000	80,380	
		その他	60,000	64,500	夢交付金交付対象外
		小計	550,000	519,620	
	クリスマスコンサート	報償費	100,000	50,000	
		消耗品費	40,000	6,600	
		食料費	20,000	10,400	
		使用料等	10,000	2,268	
		その他	50,000		夢交付金交付対象外
		小計	220,000	69,268	

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
	いなつフォークvillag	消耗品費	30,000	32,258	
		食料費	5,000	3,779	
		使用料等	30,000	30,000	
		小計	65,000	66,037	
	welcomeスプリングコンサート	報償費	150,000	80,000	
		消耗品費	20,000	50,000	
		食料費	10,000	9,800	
		委託料	10,000		
		印刷費	15,000		
		使用料等		31,996	
		小計	205,000	171,796	
合　　計			1,300,000	1,033,010	

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

環境保全事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

屏風山や小里城へ市内外から訪れる登山者が近年増加しており、稲津の自然遺産を後世まで守り続けていく必要がある。住民・各種団体が協力し合い、町内各所に花を植え、花いっぱいの美しいまちであることをアピールする。

・屏風山山開き
・小里城跡等清掃整備
・黒の田湿地木道整備
・屏風山登山
・町内一斉花いっぱい事業　（春）（秋）

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

屏風山を含めた里山や小里城を訪れる人に対して「稲津は自然と歴史文化のまち」であることをアピールする。黒の田湿地の木道及び周辺が整備され、環境も良くなり、交流人口等の増加が期待できる。町内各種団体が参画し、町内各所に春と秋の年２回花植え作業を行う。

・年間延べ登山者推定：屏風山　約5,000人　小里城　約1,000人
・各種整備活動参加者（延べ200名を想定）
・花植え作業従事者　150名

４　事業に要する経費（総事業費）

350,000 円

５　交付金申請額

226,000 円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施する地区

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

環境保全事業

２　活動報告（活動内容等）

近年、市内だけでなく市外からも、屏風山や小里城を訪れる登山者が増加しています。ふるさと稲津の自然遺産を後世まで守り続けていくため、のぼり旗の設置や草刈り等の環境整備を行いました。
4月6日小里城跡祈願祭は22名が参加して執り行いました。
4月13日に開催した屏風山山開き祭は、まちづくり役員等で登山し、山頂では一般登山者を含む25名で祈願祭を執り行いました。
6月29日の屏風山登山と山の音楽会は、40名の参加者が集まりました。寿老の滝登山道から登頂し、黒の田東湿地で間隔を空けて昼食をとったあと、「マロニーちゃんの会」によるオカリナの演奏を楽しみました。黒の田東湿地の周りの山々が反響板になったコンサートとなりました。
7月13日の小里城跡・水洗中学校線桜並木・止静庵・旧保育園跡整備事業は、区長会、まちづくり地区推進委員等103名が参加し、一斉に草刈りを行い、美しいまちづくりに繋げました。
花いっぱい事業では、沢山のボランティアの協力により、町内各所にきれいな花を植えました。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

・年間延べ登山者（推定）　屏風山：約5,000人　小里城：約1,000人
・各種整備活動参加者　延べ約200人
・花植え作業参加者（年２回）　延べ312名

４　事業に要した経費（総事業費）

303,934 円

５　夢づくり地域交付金充当額

226,000 円

（内、交付金加算額　　円）

６　共に実施したチャレンジ研究室研究員名

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容		経費の内容	
			決算科目	金額
４月	小里城跡祈願祭 屏風山整備・山開き祭	花いっぱい事業　保全管理	報償費 消耗品費	10,000 4,778
５月			光熱水費	3,365
６月	花いっぱい事業　春の花植え 屏風山登山と山の音楽会		報償費 消耗品費 食料費	23,000 80,564 8,815
７月	小里城跡・水洗中学校線桜並木・ 止静庵・旧保育園跡整備事業		消耗品費 食料費 使用料等	13,720 20,675 20,000
８月				
９月				
１０月				
１１月	花いっぱい事業　秋の花植え 黒の田湿地・登山道整備		報償費 消耗品費	3,020 71,110
１２月			消耗品費	4,260
１月				
２月			消耗品費	40,627
３月				

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	226,000	226,000	
自主財源	124,000	69,934	
その他（　参加者負担金　　）		8,000	
合　　計	350,000	303,934	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
清掃整備経費	小里城、屏風山、 黒の田湿地環境整備	報償費	0	16,020	
		消耗品費	8,000	18,498	
		食料費	15,000	20,675	
		光熱水費	3,000	3,365	
		小計	26,000	58,558	
登山事業経費	屏風山登山と山の音楽会	報償費	40,000	20,000	
		消耗品費	2,000	40,627	
		食料費	20,000	5,320	
		光熱水費	2,000	0	
		使用料等	70,000	20,000	
		小計	134,000	85,947	
花いっぱい事業経費	花植え作業（春・秋）	報償費	0	0	
		消耗品費	180,000	155,934	
		食料費	10,000	3,495	
		小計	190,000	159,429	
合　　計			350,000	303,934	

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

社会福祉推進事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

高齢化が進む現代、地域社会で高齢者が果たす役割は、ますます大きなものとなっている。
認知症の増加や、一人住まいの増加など、高齢者をとりまく問題が多様化する中で、地域の高齢者が、地域でいつまでも元気に暮らせるよう、各種団体または子どもたちと楽しくふれあえるような活動を目指す。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

・お年寄りと子どものふれあい広場(ゲーム大会、肩たたき等)
　関係団体等：社会福祉協議会、ひとり暮らしの高齢者、幼児園、民生委員
　参加人数　総勢　約130名

４　事業に要する経費（総事業費）

20,000 円

５　交付金申請額

5,000 円

（内、交付金加算額　　0円）

６　合同で実施する地区

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

社会福祉推進事業

２　活動報告（活動内容等）

お年寄りのふれあい広場を開催し、まちづくり関連団体である社会福祉協議会が中心となり、稲津幼児園児と地元のお年寄りとの交流の場を提供しました。
長寿会・社会福祉協議会・民生委員などが、準備から行事進行に携わり、小さな子供たちと触れ合う中で、お年寄りたちも元気が貰える良い機会となりました。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

ふれあい広場　参加者　総勢150名

４　事業に要した経費（総事業費）

23,300　円

５　夢づくり地域交付金充当額

5,000　円
（内、交付金加算額　　円）

６　共に実施したチャレンジ研究室研究員名

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月			
５月			
６月			
７月			
８月	お年寄りのふれあい広場	報償費 消耗品費	10,000 13,300
９月			
１０月			
１１月			
１２月			
１月			
２月			
３月			

8　収支実績

（１）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	5,000	5,000	
自主財源	15,000	18,300	
その他（　　）			
合　　計	20,000	23,300	

（２）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
お年寄りのふれあい広場	昔ながらの遊び、 お遊戯など	報償費	10,000	10,000	
		消耗品費	10,000	13,300	
合　　計			20,000	23,300	

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

青少年育成事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

青少年自ら社会の一員としての使命と役割を自覚し、広い視野のもとに自己の向上を目指し、他を思いやる温かな心、強い意志を育み、たくましい体の鍛錬に務め、社会の明るい未来を開拓していく有為な青少年を育成する。 地域・学校・家庭がお互いに信頼と愛情をもって、地域ぐるみで青少年を温かく見守り、明るく健康的なまちづくりを目指す。 市民会議及び町民会議の基本方針と実践目標を受け止めて、区民会議会長（区長）・地区推進委員を核にして、三部会の連携を深めながら地域における青少年育成活動の推進にあたる。定期的にあいさつ運動を実施し、子どもたちの安全を守る。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

あいさつ運動	７月～１月	全６回
街頭指導	７月	
標語選出	１１月	
町民会議	６月・２月	

４　事業に要する経費（総事業費）

80,000 円

５　交付金申請額

40,000 円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施する地区

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

青少年健全育成事業

２　活動報告（活動内容等）

青少年自ら社会の一員としての使命と役割を自覚し、広い視野のもとに自己の向上を目指し、他を思いやる温かな心、強い意志を育み、たくましい体の鍛錬に務め、社会の明るい未来を開拓していく青少年を育成しました。 地域・学校・家庭がお互いに信頼と愛情をもって、地域ぐるみで青少年を温かく見守り、明るく健康的なまちづくりを目指すため、市民会議及び町民会議の基本方針と実践目標を受け止め、区民会議会長（区長）・地区推進委員を核にして、三部会の連携を深めながら地域における青少年育成活動を推進しました。また、定期的にあいさつ運動を実施し、子どもたちの安全を守りました。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

あいさつ運動	７月～１月	全６回
街頭指導	７月	
標語選出	１１月	
標語看板設置	１２月	
町民会議	６月・２月	

４　事業に要した経費（総事業費）

81,060　円

５　夢づくり地域交付金充当額

40,000　円

（内、交付金加算額　　円）

６　共に実施したチャレンジ研究室研究員名

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月			
５月			
６月	青少年育成町民会議	通信費等	10,160
７月	青少年育成標語募集		
８月			
９月			
１０月			
１１月		通信費等	9,100
１２月	標語看板設置	委託料	35,750
1月		通信費等	8,050
２月	青少年育成町民会議 標語表彰等	報償費	18,000
３月			
通年	あいさつ運動		

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	40,000	40,000	
自主財源	40,000	41,060	
その他（　　）			
合　　計	80,000	81,060	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
町民会議経費	町民会議	報償費	10,000	18,000	
	標語看板設置	通信費等	10,000	19,260	
		消耗品費	10,000	0	
		委託料	40,000	35,750	
		小計	70,000	73,010	
あいさつ運動	あいさつ運動案内	通信費等	10,000	8,050	
		小計	10,000	8,050	
合　　計			80,000	81,060	

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

まちづくり情報発信事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

稲津まちづくりホームページのアクセス件数は、年々増加傾向にある。今後もまちづくりホームページの内容の充実を図り、まちづくり活動への参加・協力・理解が得られるよう市内外に広くＰＲする。 デジタルのみならず、アナログ方式でもまちづくり情報を町民に伝えるため、『稲津まちづくり新聞』を年２回発行し全戸配布する。 （まちづくり新聞　年２回発行　１，５００部×２回）

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

まちづくり新聞　年２回（６月１日号、１月１日号） ホームページ更新（随時改良）

４　事業に要する経費（総事業費）

250,000 円

５　交付金申請額

155,000 円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施する地区

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

まちづくり情報発信事業

２　活動報告（活動内容等）

稲津まちづくりホームページのアクセス件数は、年々増加傾向にある。今後もまちづくりホームページの内容の充実を図り、まちづくり活動への参加・協力・理解が得られるよう市内外に広くPRする。
デジタルのみならず、アナログ方式でもまちづくり情報を町民に伝えるため、『稲津まちづくり新聞』を年２回発行し全戸配布する。
（まちづくり新聞　年２回発行　１，５００部×２回）

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

まちづくり新聞　年２回（６月１日号、１月１日号）
ホームページ随時更新
Instagram等による情報発信

４　事業に要した経費（総事業費）

241,196 円

５　夢づくり地域交付金充当額

155,000 円
（内、交付金加算額　　円）

６　共に実施したチャレンジ研究室研究員名

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容		経費の内容	
			決算科目	金額
４月		ホームページ更新（通年）	使用料等	63,580
５・６月	まちづくり新聞発行		印刷費 委託料	48,448 27,500
７月	ウェブ使用料			
８月				
９月				
１０月				
１１月				
１２・１月	まちづくり新聞発行		印刷費 委託料	74,168 27,500
２月				
３月				

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	155,000	155,000	
自主財源	95,000	86,196	
その他（　　）			
合　　計	250,000	241,196	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
まちづくり 新聞発行経費	まちづくり新聞 編集・印刷	印刷費	120,000	122,616	
		委託料	60,000	55,000	
		小計	180,000	177,616	
ホームページ配信経費	ウェブ使用料	使用料等	70,000	63,580	
		小計	70,000	63,580	
合　　計			250,000	241,196	

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

30周年記念事業積立基金

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

稲津まちづくり推進協議会は、令和９年度に設立３０周年を迎えます。諸先輩のたゆみない努力により受け継がれてきた稲津まちづくりの活動を、稲津町民と共有し次世代に継承する機会ととらえ、次の１０年に向けたスタートとして３０周年記念事業（式典・講演会）の実施をします。本事業を実施するにあたり、基金を令和５年度から５年間造成して予算を確保します。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

稲津町内の稲津小学校、瑞浪南中学校、麗澤瑞浪中学・高等学校やスポーツ文化クラブなどと連携して次世代を担う子どもたちの参加を積極的に企画し、稲津町に愛着を持ってもらう。また、稲津まちづくりのキャラクター「きつねちゃん」の名前も記念事業にあわせて公募し、３０周年記念の意識を醸成する。

４　事業に要する経費（総事業費）

100,000 円

５　交付金申請額

100,000 円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施する地区

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

３０周年記念事業積立金

２　活動報告（活動内容等）

稲津まちづくり推進協議会は、令和９年度に設立３０周年を迎えます。諸先輩のたゆみない努力により受け継がれてきた稲津まちづくりの活動を、稲津町民と共有し次世代に継承する機会ととらえ、次の１０年に向けたスタートとして３０周年記念事業（式典・講演会）の実施をします。本事業を実施するにあたり、基金を令和５年度から５年間造成して予算を確保します。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

稲津町内の稲津小学校、瑞浪南中学校、麗澤瑞浪中学校・高等学校やスポーツ文化クラブなどと連携して次世代を担う子供たちの参加を積極的に企画し、稲津町に愛着を持ってもらう。また、稲津町まちづくりのキャラクター「きつねちゃん」の名前も記念事業にあわせて公募し、３０周年記念事業の意識を醸成する。

４　事業に要した経費（総事業費）

100,000 円

５　夢づくり地域交付金充当額

100,000 円

（内、交付金加算額　　円）

６　共に実施したチャレンジ研究室研究員名

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月			
５月			
６月			
７月			
８月			
９月			
１０月			
１１月			
１２月			
１月	記念事業積立金	積立金	100,000
２月			
３月			

8　収支実績

（１）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	100,000	100,000	
自主財源	0	0	
その他（　　）			
合　　計	100,000	100,000	

（２）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
積立金	基金積立金	積立金	100,000	100,000	
		小計	100,000	100,000	
合　　計			100,000	100,000	

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名	稲津　地区
事業番号	1
事業名	まちづくり推進　事業

評価項目		評価項目に対する 各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	いいなっつ農園苗植え　参加予定人数　約200名 いいなっつ農園収穫祭　参加予定人数　約200名	3
		実績値	いいなっつ農園苗植え　参加人数　200名 いいなっつ農園収穫祭　参加人数　140名	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解消	課題の内容	休耕田が増加するなか、まちづくり協議会が中心となりボランティアの参加を呼び掛けていくなかで、活用方法を模索する。まちづくりに参画するボランティアの募集と今後の管理が課題である。	3
		課題の解消状況	5 課題が解消した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 課題解決に向けた取り組みが最終段階に突入した。 3 課題解消に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解消に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解消に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		4
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				22
今後の事業展開の方向性		1 拡充　(2 継続)　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		親子・長寿会等三世代にわたる幅広い年齢層が参画できる事業です。苗植えと収穫祭には、大勢の参加者があり、苗植え後の水やりにも自主的に参加する姿が見られました。収穫したさつまいも等は、公民館行事で利用したり、町内の介護施設・幼児園等にも配布し、大変喜ばれました。		

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名	稲津　地区
事業番号	2
事業名	文化・芸術・スポーツ推進　事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	各種文化芸術スポーツ事業を通して、様々な世代の人がまちづくり事業に参加できる。また、町内の各種団体が共催し、事業の計画から運営実施に至るまで地域住民同士が協力することにより、交流の輪が広がり、町の活性化に繋がる。コンサートイベントについては、町外からの参加者も多く交流人口の増加にも繋がる。 合計参加者（見込み）　ふれあい映画館　200名、夏まつり　1，800名 まちづくり年末イベント　100名、フォークビレッジ　150名 すぷりんぐコンサート　150名	4
		実績値	ふれあい映画館　150名、　夏まつり　1，950名、　まちづくり年末イベント　80名 フォークビレッジ　200名、すぷりんぐコンサート　90名	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。（120%以上） 4 実績値が成果指標の数値を上回った。（100%～120%） 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。（90%～100%） 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解消	課題の内容	近年、日常的に交流が少なくなりつつある地域住民同士の親睦とまちの活性化、さらには住民の健康増進を図る必要がある。	3
		課題の解消状況	5 課題が解消した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 課題解決に向けた取り組みが最終段階に突入した。 3 課題解消に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。（事業手法を見直し、引き続き展開する） 1 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。（課題の見直し）	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解消に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解消に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		4
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				23

今後の事業展開の方向性	1 拡充　（2 継続）　3 終了　4 廃止
意見・感想など	どの事業も大盛況で町民の喜びの声を直接いただき、多くの参加者に満足していただけました。すべての事業が定着し、町民にも毎回事業の開催を楽しみにしていただいています。 また、町内の中学生、高校生のボランティアの参加もあり、地域の連帯感が深まりました。中高生ボランティアの活躍する姿に地域の方々の評価も高く、来年度も町民の希望を取り入れながら継続していきたい事業です。

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名	稲津　地区
事業番号	3
事業名	環境保全　事業

評価項目		評価項目に対する 各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		3
2	成果目標の達成度	成果目標	屏風山を含めた里山や小里城を訪れる人に対して「稲津は自然と歴史文化のまち」であることをアピールする。黒の田東湿地の木道及び周辺が整備され、環境も良くなり、交流人口等の増加が期待できる。町内各種団体が参画し、町内の所々に春と秋の年2回花植え作業を行う。 ・年間延べ登山者推定：屏風山　5，000人　小里城　1，000人 ・各種整備活動参加者（延べ200名を想定） ・花植え作業従事者　150名	3
		実績値	・年間延べ登山者推定：屏風山　約5，000人　小里城　約1，000人 ・各種整備活動参加者　延べ約200名 ・花植え作業従事者　延べ312名	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。（120%以上） 4 実績値が成果指標の数値を上回った。（100%～120%） 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。（90%～100%） 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解消	課題の内容	屏風山や小里城へ市内外から訪れる登山者が近年増加しているため、稲津の自然遺産を後世まで守り続けていく。	3
		課題の解消状況	5 課題が解消した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 課題解決に向けた取り組みが最終段階に突入した。 3 課題解消に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。（事業手法を見直し、引き続き展開する） 1 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。（課題の見直し）	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解消に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解消に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		4
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				21
今後の事業展開の方向性		1 拡充　(2 継続)　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		ボランティアの協力を得ながら、黒の田東湿地や林道の整備を行い、安全面の確保と保全に努めました。登山ブームもあり、訪問者が増加しており、交流人口の更なる増加が期待されています。町民の環境保全に対する意識は高まっていますが、環境保護保全事業ボランティア等への参加は、高齢化の傾向や特定の人に限られています。公民館便りやホームページを通じて募集をかけて、自然環境保全の必要性を更に広めていく必要があります。		

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　稲津　地区

事業番号　4

事業名　社会福祉　事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		3
2	成果目標の達成度	成果目標	ふれあい広場(ゲーム大会、肩たたき、とんでけ ふれあい風船飛ばし) 関係団体等:社会福祉協議会、ひとり暮らし老人、幼児園、民生委員 参加人数 総勢 約130名	4
		実績値	ふれあい広場(輪投げ、玉入れ、お菓子釣り、スーパーボールすくい) 関係団体等:社会福祉協議会、長寿会、幼児園、民生委員、児童館 参加人数 総勢 150名	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解消	課題の内容	認知症の増加や一人住まいの増加など、高齢者をとりまく問題は多様化しており、そうした状況において、地域のお年寄りが地域でいつまでも元気に暮らせるよう、各種団体または子どもたちと楽しくふれあえるような活動を目指す。	3
		課題の解消状況	5 課題が解消した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 課題解決に向けた取り組みが最終段階に突入した。 3 課題解消に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解消に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解消に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		4
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				22
今後の事業展開の方向性		1 拡充　(2 継続)　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		幼児園児と地元のお年寄りとの交流の場を提供することで、世代を超えた絆が深まりました。長寿会、社会福祉協議会、民生委員等が準備から行事進行に携わり、小さな子どもたちと触れ合うなかで、お年寄りたちも元気をもらうことができました。今年度は、昔ながらのあそびや出し物等を通して、子ども、お年寄りにとって意義のある時間が提供できました。		

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　稲津　地区

事業番号　5

事業名　青少年育成　事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	あいさつ運動　7月～1月　全6回 街頭補導　7月 標語選出　12月 町民会議　6月・2月	3
		実績値	あいさつ運動　7月～1月　全6回 街頭補導　7月 標語選出　12月 町民会議　6月・2月	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解消	課題の内容	市民会議及び町民会議の基本方針と実践目標を受け止めて、区民会議会長(区長)・地区推進委員を核にして、三部会の連携を深めながら地域における青少年育成活動の推進にあたる。定期的にあいさつ運動を実施し、子どもたちの安全を守る。	3
		課題の解消状況	5 課題が解消した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 課題解決に向けた取り組みが最終段階に突入した。 3 課題解消に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解消に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解消に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		4
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				22
今後の事業展開の方向性		1 拡充　(2 継続)　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		教育・環境補導・地区推進部会の三部会が連携を深めながら地域における青少年育成活動の推進に当たることができました。引き続き子どもたちを地域ぐるみで見守ることで、青少年の育成を図ります。		

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名	稲津　地区
事業番号	6
事業名	まちづくり情報発信　事業

評価項目		評価項目に対する 各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	まちづくり新聞　年2回(6月1日号、1月1日号) ホームページ更新(随時改良)	3
		実績値	まちづくり新聞　年2回(6月1日号、1月1日号) ホームページ更新(随時改良)	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解消	課題の内容	まちづくりホームページの内容の充実を図り、まちづくり活動への参加・協力・理解が得られるよう市内外に広くPRする。デジタルのみならず、アナログ方式でもまちづくり情報を町民に伝えるため、『稲津まちづくり新聞』を年2回発行し全戸配布する。	3
		課題の解消状況	5 課題が解消した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 課題解決に向けた取り組みが最終段階に突入した。 3 課題解消に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解消に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解消に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		4
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		3
合計点				21

今後の事業展開の方向性	1 拡充　(2 継続)　3 終了　4 廃止
意見・感想など	催し物以外にも、まちに関する身近な出来事などを取り上げながら、更新頻度を高くしています。 ホームページ及びまちづくり新聞等で情報を伝えるため、今後もホームページの素早い更新、見やすい紙面の作成と、新鮮な情報の発信を続けます。 今後のについて、瑞浪南中学校の「地域への提言」から、地域の魅力や良さを再発見する事業を企画し、ホームページ等で情報発信していきます。

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名	稲津　地区
事業番号	7
事業名	30周年記念事業積立基金　事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	積立金　100，000円/年（令和9年度時点目標総額500，000円）	3
		実績値	積立金　100，000円/年 1月の理事会において、記念事業プロジェクトチームの立ち上げの承認を得た。	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。（120%以上） 4 実績値が成果指標の数値を上回った。（100%～120%） 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。（90%～100%） 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解消	課題の内容	稲津町内の稲津小学校、瑞浪南中学校、麗澤瑞浪中学校・高等学校やスポーツ文化クラブなどと連携して次世代を担う子供たちの参加を積極的に企画し、稲津町に愛着を持ってもらう。また、稲津町まちづくりのキャラクター「きつねちゃん」の名前も記念事業にあわせて公募し、30周年記念事業の意識を醸成する。	3
		課題の解消状況	5 課題が解消した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 課題解決に向けた取り組みが最終段階に突入した。 3 課題解消に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。（事業手法を見直し、引き続き展開する） 1 課題解消に向けて、特に進展は見られなかった。（課題の見直し）	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解消に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解消に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		4
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		3
合計点				21

今後の事業展開の方向性	1 拡充　(2 継続)　3 終了　4 廃止
意見・感想など	30周年記念事業は、まちづくり推進協議会が重要な節目を迎え、その歴史や成果を振り返り、未来に向けたビジョンを町民と共有するための重要なイベントです。目的を明確化し、小中学校、スポーツ文化クラブなどの各種団体を含め、町民と一体となって取り組んでいきます。 令和7年4月に立ち上げ予定である「明日の稲津を築くまちづくり推進協議会設立30周年記念事業プロジェクトチーム（仮称）」が中心となって、具体的な内容を決めていきたい。

令和6年度　夢づくり地域交付金
活動記録

特定非営利活動法人
明日の稲津を築くまちづくり推進協議会



【まちづくり推進事業】

R6.5.11

いいなつ農園苗植え



【まちづくり推進事業】

R6.10.12

いいなっつ農園収穫祭



【文化・芸術・スポーツ推進事業】

R6.5.25

ふれあい映画館



【文化・芸術・スポーツ推進事業】

R6.7.27

稲津町民夏まつり



【文化・芸術・スポーツ推進事業】

R6.12.7

クリスマスコンサート



【文化・芸術・スポーツ推進事業】

R7.2.9

いなつフォークvillage



【文化・芸術・スポーツ推進事業】

R7.3.8

welcomeスプリングコンサート



【環境保全事業】

R6.4.6

小里城跡整備・祈願祭



【環境保全事業】

R6.4.13

屏風山山開き祭



【環境保全事業】

R6.6.6

花いっぱい事業



【環境保全事業】

R6.6.29

屏風山登山と山の音楽会



【まちづくり推進事業】

R6.7.13

小里城跡・止静庵跡

いいなっつ農園・水洗
・中学校線桜並木整備



【社会福祉事業】

R6.8.29

お年寄りと子どものふれあい広場



【青少年健全育成事業】

通年

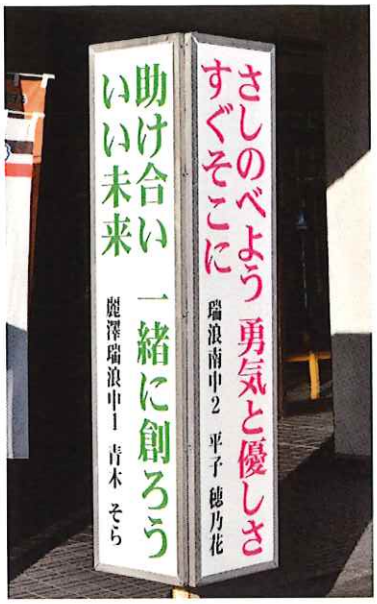
あいさつ運動



【青少年健全育成事業】

R7.2.6

青少年育成表彰



【青少年健全育成事業】

標語看板設置



【情報発信事業】

R6.6・R7.1

まちづくり新聞